

見直し検討箇所（ルート）の分析について

【見直し検討箇所】

	区域	現状 ※便数は1日あたり ※運行経費1kmあたり	運行経費（距離ベース） ※1日あたり 経費×運行距離×便数	利用者数 ※1日あたり	運賃収入 ※1日あたり 利用者数×100円	事業収支率 収入／経費	収支率比較 収支率=28.01%	見直し運行計画（案）	コスト削減額（想定） 運行経費（1日あたり）×365日	備 考
1	川田谷薬師堂	東西循環（外回り） 便数：6便 バス停：3箇所 運行距離：1.2km 運行経費：304円	2,189円	2.22人	222円	10.14%	-17.87%	現状では、全体の収支率を下回っている状況である。 そのため、このルートを廃止し、経費を削減する。別の路線に、一部バス停を組み込み地域の利便性を向上させ、収支の改善を図る。 ※下記 見直しルート6参照	運行経費（1日） 2,189円…① 運行経費削減額（1日） ①≒2,100円 運行経費削減額（年間） ③×365日=766,500円	廃止するバス停の利用者は2.22人（1日あたり） 運賃減収額（年間） 2.22人×100円×365日=81,030円
2	小針領家・倉田	東西循環（外回り） 便数：6便 バス停：12箇所 運行距離：4.6km 運行経費：304円	8,390円	13.20人	1,320円	15.73%	-12.28%	現状では、全体の収支率を下回っている状況である。 しかし、その中には利用の多いバス停がある。そのため、利用の多いバス停を、今後も活かした形で運行を継続する。路線バスとの競合するルートを廃止するとともに、利用の少ない時間帯の便数を減らすことで経費を削減し、収支の改善を図る。	現状の運行経費（1日） 8,390円…① 見直しルート運行経費（1日） 6,809円…② 運行経費削減額（1日） ①-②=1,581≒1,500円…③ 運行経費削減額（年間） ③×365日=547,500円	見直しルート運行経費については、運行計画（案）のとおり4便を想定 廃止するバス停の利用者は2.86人（1日あたり） 運賃減収額（年間） 2.86人×100円×365日=104,390円
3	加納中央	東循環 東西循環（外回り） 便数：19便 バス停：2箇所 運行距離：0.98km 運行経費：304円	5,660円	6.31人	631円	11.15%	-16.86%	現状では、全体の収支率を大きく下回っている状況である。 そのため、このルートを廃止し、ルートを短縮することで経費を削減し、収支の改善を図る。	現状の運行経費（1日） 5,660円…① 見直しルート運行経費（1日） 1,733円…② 運行経費削減額（1日） ①-②=3,927≒3,900円…③ 運行経費削減額（年間） ③×365日=1,423,500円	廃止するバス停の利用者は6.31人（1日あたり） 運賃減収額（年間） 6.31人×100円×365日=230,315円
4	神明・朝日	東西循環（内回り） 便数：8便往復 バス停：20箇所 運行距離：7.72km 運行経費：304円	18,775円	20.48人	2,048円	10.91%	-17.10%	現状では、全体の収支率を大きく下回っている状況である。 そのため、東西にルートを分断し、駅への速達性、正確性を高め利便の向上を図る。また、利用が殆ど無い夜間の便を廃止することで経費を削減し、収支の改善を図る。	現状の運行経費（1日） 18,775円…① 見直しルート運行経費（1日） 10,609円…② 運行経費削減額（1日） ①-②=8,166≒8,100円…③ 運行経費削減額（年間） ③×365日=2,956,500円	見直しルート運行経費については、運行計画（案）のとおり朝日は5便、神明は4便を想定

【比較】

5	川田谷はにわの里	東西循環（外回り） 便数：6便 バス停：3箇所 運行距離：1.0km 運行経費：304円	1,824円	11.76人	1,176円	64.47%	36.46%	現状では、路線別、全体の収支率ともに上回っている状況である。 便数は一日6便と多くはないが、利用は多い。今後は、利用者の拡大も考えられることから、便数の増も視野に入れつつ、現状維持とする。	現状の運行経費（1日） 1,824円…① 短縮ルート運行経費（1日） 730円…② 運行経費削減額（1日） ①-②=1,094≒1,000円…③ 運行経費削減額（年間） ③×365日=365,000円	廃止した場合のバス停の利用者は11.76人（1日あたり） 運賃減収額 11.76人×100円×365日 =429,240円 ※経費削減額よりも運賃減収額が上回ってしまう。
---	----------	--	--------	--------	--------	--------	--------	---	---	---

【見直しルート】

6	桶川西高校から 川田谷薬師堂	見直し運行ルート 駅西側南回り 便数：13便以上 バス停：3箇所 運行距離：0.8km 運行経費：304円	3,162円	-	-	-	-	現状の上尾道路を経由するルートでは、上尾道路と市道17号線との交差点が近接しており、事業者からは運行し難いという申し出もあり、解決の困難な課題となっている。見直しルート案では、上尾道路を迂回するルートしている。 試走した結果、延長は約300m延伸するが、信号の数が減少し、待ち時間も読めることから時間的なロスがなく、安全かつ効率的な運行が行えることが確認済。江川に近接するが、浸水による通行止め程度も極めて少ない。		新たにバス停も設置できることから、近接する上尾市側の施設利用者や近隣の会社の従業員等による新たな利用が見込める。
---	-------------------	--	--------	---	---	---	---	--	--	--